



No.861

2025 June

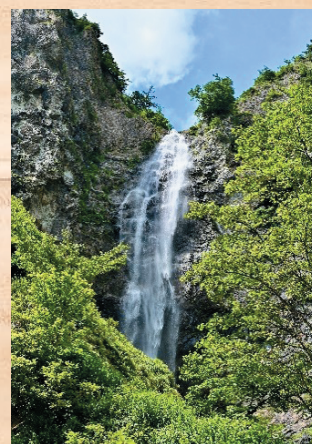
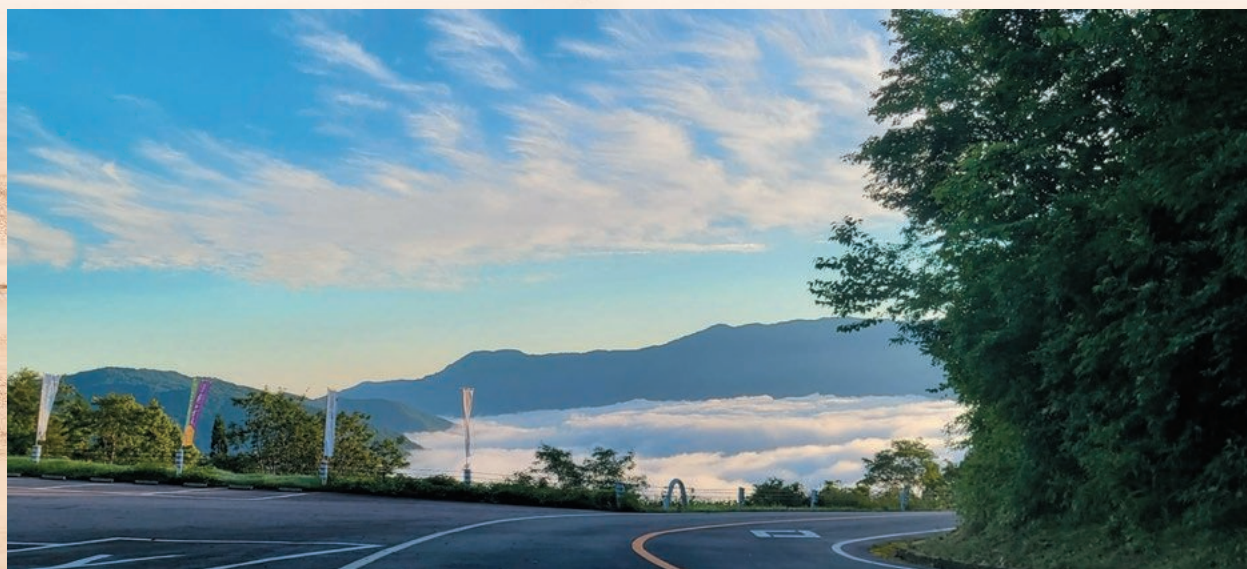
FREE

ご自由に お持ちください。



森 もり 林のたより

ずっと絶景が続く!
(白山白川郷ホワイトロード)



開催日	行事名等	内 容 等	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
7月11日(金)	令和7年度 岐阜県森林研究所 「研究成果発表会」	●内容: 岐阜県森林研究所で取り組んでいる森林管理や森林資源の活用に関する研究内容を紹介しします。 ●時間: 13:15～16:15(受付12:45～) ●参加料: 無料 ●事前申込: 6月中旬ごろから当所ホームページにてお知らせします。	わかくさ・プラザ 多目的ホール (岐阜県関市若草通2丁目1番地) 岐阜県森林研究所 (岐阜県美濃市曾代1128-1) TEL: 0575-33-2585
7月18日(金)	狩猟免許試験 (網猟、第一種銃、第二種銃)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30～17:00 ●申込: 6/13～6/27 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	飛騨・世界生活文化センター 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 TEL: 058-272-8231



目次 Contents		今月の表紙
イベントカレンダー(一般向け).....	2	 白山白川郷ホワイトロードを走行する車窓から見える雄大なパノラマや数々の滝などです。気温の下がった晴天の朝には白川郷にかかる雲海が見られることもあります
『白山白川郷ホワイトロード』が6月中旬以降開通予定 わが組合の頑張るフレッシュヤーズ.....	3	
シリーズ『ぎふ木育全県展開』⑥ 下呂地域.....	3	
地域の人 郡上地域の未利用材活用の牽引役.....	4	
国有林の現場から(104).....	5	
伊勢神宮 式年遷宮特集 式年遷宮と国有林の関わり.....	6	
令和7年度 山地災害防止キャンペーン.....	7	
森林整備センター岐阜水源林整備事務所のご紹介.....	8	
山の歳時記(238) トガリアミガサタケ.....	10	
森林と人を活かす知恵(149).....	10	
製材から丸太を知る...曲がり材と大径材を探る.....	11	 白山白川郷ホワイトロードを走行する車窓から見える雄大なパノラマや数々の滝などです。気温の下がった晴天の朝には白川郷にかかる雲海が見られることもあります
ぎふ木遊館通信.....	11	
morinos 春のメンテナンス紹介!!.....	12	
“ぎふの木”使います!(13).....	13	
木の香るぎふの施設(146) 美濃保育園 図書館棟.....	14	
シリーズ『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”(2).....	15	
研究コーナー コンテナ苗は低コスト?(V).....	16	
―ヤシ殻に替わる培地基材の開発―.....	17	
普及コーナー 施業プランナー 実践力向上研修について.....	18	
スマート林業通信(47).....	19	
林業者向けお知らせ.....	20	 白山白川郷ホワイトロードを走行する車窓から見える雄大なパノラマや数々の滝などです。気温の下がった晴天の朝には白川郷にかかる雲海が見られることもあります
市況.....	21	
末梢.....	22	

「白山白川郷ホワイトロード」が6月中旬以降開通予定

岐阜県白川村と石川県白山市を結ぶ山岳有料道路「白山白川郷ホワイトロード」は、6月中旬以降に開通する予定です。

壮大な新緑を眺めながらドライブを楽しむことができるほか、各所に駐車場があり、そこから観光スポットへアクセスできるため、ゆっくりと大自然を満喫できます。

なかでも「白川郷展望台」では、世界遺産白川郷の眺望、ブナなどの天然林での森林浴や、三方岩岳へのトレッキング等、様々な自然の楽しみ方を体験できます。

詳しい情報は、白山林道岐阜管理事務所へお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。



※新緑のホワイトロード



※白川郷展望台

通行料金

	片道利用料
軽自動車	1,400円
普通自動車	1,700円

電話でのお問い合わせ先

白山林道岐阜管理事務所

TEL/FAX 05769-6-1664

<https://hs-whiteroad.jp/>



【森林保全課 水源林保全係】

まだ「この仕事に自信を持てる」ということは言えませんが、1年目と比べると、チェーンソーや刈払機の使い方、伐倒や造材作業も少しずつ上達してきていると感じています。また、仕事の流れや

【自信が付いてきた仕事】

仕事の一つ一つに技術が求められ、難しく、危険も伴う反面、技術を習得したとき、危険への対処法を考えることに面白さを感じています。辛いことは、しいて言えば厳冬期の朝は体が温まるまでが辛いです。

【就業しての感想】

子供の頃から父と一緒に遊びで山に入る機会が多く、林業に興味があり、就職先を決める際に「森ジョブ」のホームページを観て何件かを見学し、岐阜中央森林組合の環境が自分に合っていると感じ就職を希望しました。

【林業就業のきっかけ】



左 佐藤組合長 右 那須さん

【今後の抱負】

常に安全な作業を心掛けつつ、日々研鑽を積み、技術を多く身に付けて、難しい現場でも自信を持って出来るように頑張りたいです。

【イベントの思い】

作業が終わった時に良い仕事が出来たと言えるよう、丁寧にしっかりとやっていきたいです。どの作業も未来につながると考え、作業の意味や理由について理解を深め、より良い山づくりを目指したいです。

【岐阜中央森林組合（山県市） 那須綱斗さん（2023年入社（関市出身））

わが組合の頑張るフレッシュメンバース



詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-129138008

「森のジョブステーション」まで

*** ~下呂地域~ ***

県では、「ぎふ木育」を全県展開するため、10箇所の農林事務所ごとに、地域で活動する木育関係者の交流会や、行政と意見交換する連絡会議を開催しています。その開催状況や、地域でぎふ木育を進めるキーパーソンを紹介しています。今号は下呂地域です。

下呂地域交流会・連絡会議を開催

令和6年6月24日にオープン間もない木造2階建ての下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設「ニコリエ」で「ぎふ木育下呂地域連絡会議」を開催しました。

会場の「ニコリエ」は「ぎふ木育ひろば」の認定を受けた施設で、新鮮な木の香に包まれるなか、活発な意見が飛び交いました。

この連絡会議で、「下呂市金山町にも木のおもちゃ遊びが体験できるようにしたい」との声があがり、金山児童館の「ぎふ木育ひろば」認定につながりました。



金山児童館「ぎふ木育ひろば」

下呂地域のキーパーソン

伊藤 栄一さん(森のなりわい研究所 所長)

Q どのような活動をしていますか？

南飛騨健康増進センター（萩原町）付近の里山人工林や、岐阜大学位山演習林、小坂町御嶽・濁河地区の奥山林など、標高500～3,000mの多種多様な森林を対象に、「森を生かし、森に育まれるくらし・地域づくり」を目指す調査・研究を行い、この研究を通じて、子供から大人までの地域活動、生涯学習の企画・運営・支援・提案を行っています。



Q 活動するうえで大事にしていることは何ですか？

「見て、聞いて、嗅いで、味わい、触る」という五感を、木育学習の参加者が自ら気づくことができるよう心掛けています。市内の子ども達が地域学習を行えば必ず様々な分野で森林が関わってくるため、分野ごとに長けた専門家と連携・活用しながら多種・多様な木育を心掛けていきたいです。



Q 「木育」を通じて下呂地域の人々にどのようなことを伝えたいですか？

下呂地域には、様々な森があり、その森と人との多様な関わりを育ててきた場所であることを知ってほしいです。また、人工林を主体とし長い時間をかけて形作った地域の文化があります。過去には、自身も農山村出身ではないことから林業（人工林）を誤解（マイナスイメージ）していました。地域の方には、どこをとっても人工林を主体とする下呂市の森林をプラス評価として見てもらいたいです。また、人工林から切り離せない生活文化が形作った下呂市を愛する人になってほしいと考えています。

地域の人



郡上地域の未利用材活用の牽引役

穂積建設株式会社 代表取締役 下牧 成男さん

しも まき なる お

今回は、建設業に加えて、森林整備事業や未利用材を活用した木質チップ加工・供給事業も手掛けている郡上市高鷺町の穂積建設株式会社代表取締役社長の下牧成男さんを紹介します。



万場チップセンターお披露目式で説明する下牧社長

下牧社長は、長良川流域、特に郡上地域の森林を守る想いが強く、本業の建設業に加え、平成22年から林業分野にも参入されました。参入後、プロセッサ等の高性能林業機械を揃え、年間約3千m³の木材を生産しています。また、現在は、建設業の得意技を活かし、壊れにくい森林作業道の開設も行っています。

令和2年9月から自己資金でチップ機など必要な機械を揃え、郡上市大和町・高鷺町地内で木質バイオマス発電用のチップ生産事業を開始しました。さらに、下牧社長は、令和6年度に特に山に放置された枝葉や端コロなどを集荷・加工する



令和6年度開設万場チップセンターチップバー機



チップ化された枝葉等

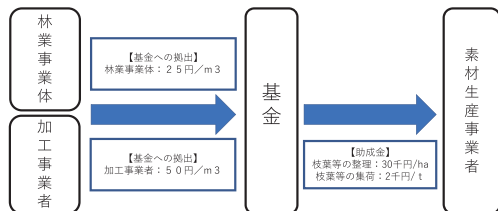
ため、大和町に「万場チップセンター」を新たに造成し、郡上管内の森林整備の推進に寄与していただいています。

下牧社長がこれら3か所のチップセンターを整備した理由の一つとして、山で伐採・搬出を行う素材生産事業者が行う枝葉・端コロなど輸送コストの低減もあげられます。

郡上地域は、岐阜県内で最も主伐・再造林が盛んに進められている地域です。主伐時には枝葉や端コロが伐採地に乱雑に放置され、これらが再造林時の妨げとなっています。放置された枝葉や端コロを主伐時に運び出してしまえば、再造林時の地拵え作業が省力化でき、より再造林が進むこととなります。また、運び出した枝葉や端コロは、現在、需要が高まっている木質バイオマス発電

郡上地域は、岐阜県内で最も主伐・再造林が盛んに進められている地域です。主伐時には枝葉や端コロが伐採地に乱雑に放置され、これらが再造林時の妨げとなっています。放置された枝葉や端コロを主伐時に運び出してしまえば、再造林時の地拵え作業が省力化でき、より再造林が進むこととなります。また、運び出した枝葉や端コロは、現在、需要が高まっている木質バイオマス発電

郡上森林・林業循環基金【概要】



用の燃料として有効活用できます。

下牧社長をはじめ加工側の協力もあり、再造林の省力化に資する「郡上森林・林業循環基金」（※1）を令和6年3月22日に設立することができました。また、下牧社長は基金運営委員としても名を連ねていただいています。



郡上森林・林業循環基金の事業実施に関する協定締結（右端が下牧社長）

こうして、伐採地から枝葉、端コロ等運び出して地域内でチップまで加工する体制が整備され、今後再造林がさらに進むことが期待されています。

これも下牧社長がご努力いただいたお陰であり、今後も郡上地域の未利用材活用の牽引役として益々活躍されることを祈念致します。

【郡上農林事務所 林業課】

（※1）「郡上森林・林業循環基金」の詳細は、森林のたよりNo.849（2024年6月号）に掲載。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-167-1111 内線（250）

郡上農林事務所まで

伊勢神宮 式年遷宮特集

式年遷宮と国有林の関わり

伊勢神宮の式年遷宮は、その歴史も古く、第40代天武天皇の時代である685年に同天皇のお定めにより始まったと言われていますが、とりかかった後すぐに、天武天皇が崩御されたため、妻であり小倉百人一首の歌人としてもよく知られています、持統天皇がその意志を継ぎ690年、初めて遷宮を実行に移されました。



その後、戦国時代の最中、一時中断した時代もありましたが、おおよそ20年毎に遷宮が繰り返し行われてきました。

令和6年4月8日、第63回伊勢神宮 式年遷宮で最も重要な儀式である「遷御の儀(せんぎよのぎ)」御神体を新しい正殿へ移す儀式を令和15年秋に行う「御聴許(ごちようきよ)」(天皇陛下が願いを聞き入れこれを許すこと)を受けたと、伊勢神宮の久爾朝尊大宮司(くにあさたかだいぐうじ)より発表があり、国内最大のお祭りごとの準備が始まりました。

その後、今年に入り1月15日付けで、この遷宮に係る「御杣山(みそまやま)」(遷宮御用材を伐り出す山)を長野県の本曾谷、岐阜県の裏木曾の国有林に決定する「御治定(ごじじょう)」(天皇陛下が定められること)が行われました。

この御杣山は元々伊勢神宮周辺の

神路山(かみじやま)等に定められていましたが、一度の遷宮には過去の書物によれば約1万3千本(8千5百㎡)にも及ぶ大量の高品質材が御用材として伐り出されることから、伊勢市、志摩市、宮川村、設楽町(愛知県)等々を転々とした後、第47式年遷宮(1709年)以降(第51回だけは太田町(三重県))は今日の木曾(長野県上松町を中心とした地域)、裏木曾(中津川市神坂、加子母等)へ移されました。

ここで、式年遷宮ではこのように沢山の木材が必要なの?と疑問を持たれる方もあるかもしれませんが、式年遷宮では代表的な内宮・外宮の正殿をはじめ14所の別宮、宇治橋などもすべて建て替えられます。そのため、おおよそ65棟の殿舎(鳥居なども含む)が新しくされるためこれだけの木材が必要となるのです(中には樹齢が300年〜400年といった胸の高さでの直径が1mを超えるヒノキの大木も多数含まれています)。また、この遷宮に合わせて神々の御装束、宝物として714種 1576点も新調されます。

冒頭、この伊勢神宮式年遷宮は国内最大のお祭りと紹介させていた

きましたが、これは、令和15年の「遷御」に向けて、今年度より8年かけて関連する33のお祭りや行事が順に行われるからです。



この地域では、最初に伊勢で行われる「山口祭(やまぐちさい)」(木本祭(このもとさい))に次ぐ3番目のお祭りである「御杣始祭(みそまはじめさい)」が6月3日に長野県上松町で行われ、6月5日に中津川市加子母において同様に「裏木曾御用材伐採式」が行われる予定となっています。

地元中津川市では、この一大行事に向けて大いに盛り上がりを見せています。

(東濃森林管理署)

令和7年度 山地災害防止キャンペーン

今年の春先は、全国各地で山火事災害が発生し、地域の社会活動に大きな影響を及ぼしました。また、これからは梅雨の時期に向かい降雨が続き、山地災害が発生しやすくなる季節に入ります。一方、岐阜県では、令和5年8月の台風7災害により揖斐地域を中心に発生した山地災害の復旧が令和7年3月をもってようやく完了し、今後、下流の流路工事が順次進められる予定です。

この様な中、今年も林野庁、県及び市町村では、県民の皆さんに山地災害に対する防災意識を高めてもらうため、令和7年5月20日（火）から6月30日（月）にかけて「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

キャンペーン期間中は、県や市町村の公共施設にポスターを掲示し、山地災害への備えを呼びかけるとともに、市町村の広報誌に関連記事を掲載しています。

また、キャンペーン関連行事の一環として、山地災害防止標語及び写真コンクールが実施されます。皆さんのたくさんの応募を期待しています。



令和7年度キャンペーンポスター



令和5年山地災害発生状況(揖斐川町)



【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

(一社) 日本治山治水協会 標語・写真コンクール係
TEL 03-3581-2288 FAX 03-3581-1410

●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8496 森林保全課治山係まで

水源林整備事務所のご紹介

伐期を迎えた林分を更新する育成複層林をご紹介します

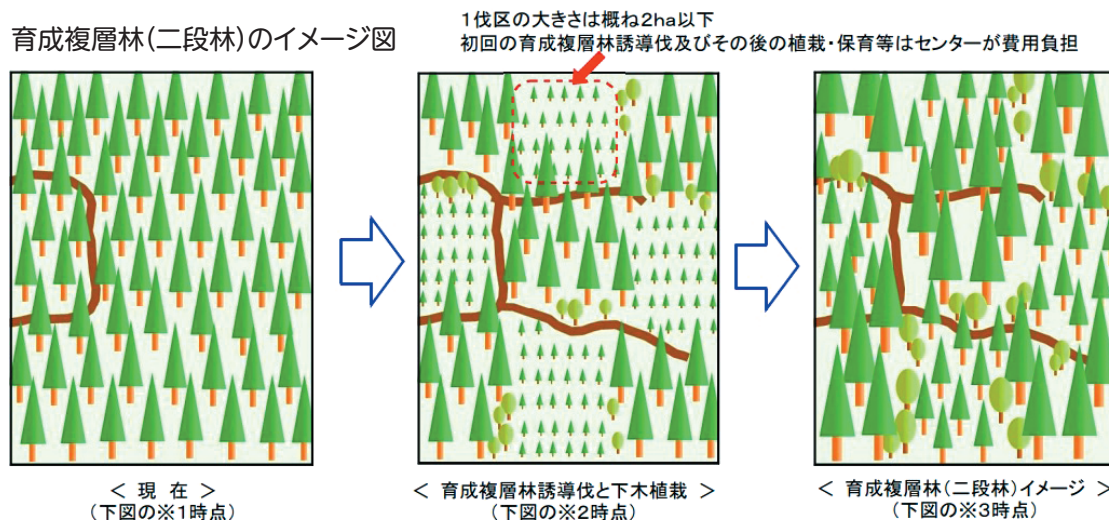
森林整備センターでは、水源涵養や土砂の流出防止等に係る公益的機能を持続的かつ高度に発揮するため、群状又は帯状の育成複層林誘導伐の実施により、複数の樹冠層を有する育成複層林の造成を推進しています。

育成複層林は対象面積の1/2または1/3程度を育成複層林誘導伐(更新伐)で実施し、初回に限り、更新伐費用及びその後の再造林費用について当センターで負担します。

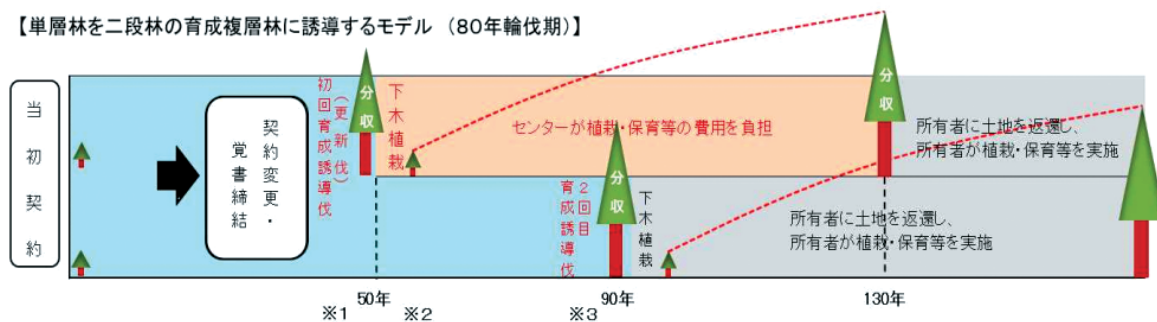
これにより通常の主伐と比較して、所有者は収益を得る機会が増え、また育成複層林は30年～45年間の間断期間をもって主伐するので再造林費用負担を分散化できることがメリットになります。

育成複層林の対象地にはいくつか条件がありますので、ご興味・ご関心がある方はお気軽にお問い合わせください。

育成複層林(二段林)のイメージ図



【単層林を二段林の育成複層林に誘導するモデル(80年輪伐期)】



県内の取組事例

これまでに岐阜水源林整備事務所で造成した育成複層林の美濃市片知地内の事例で、写真のように群状の伐採と植栽を部分的に行い、更新を進めています。





森林整備センター岐阜

森林整備センターの役割は

ダムの上流域などの水源涵養上重要な奥地水源地域の民有保安林のうち、土地所有者の自助努力では適正な森林整備が見込めない箇所において、公的なセーフティネットとして、水源を涵養するための森林「水源林」を造成しています。

造成した水源林は、地域の皆様の生活に不可欠な水源の涵養や土砂流出・崩壊の防止などの機能を発揮する「緑のダム」として、国土保全等に大きく役立っています。



水源林造成事業地(本巣市)

事務所はどこにありますか

森林整備センター岐阜水源林整備事務所は「ぎふ森林文化センター」の3階にあります。(岐阜市六条江東2-5-6)

当事務所は全国32拠点ある水源林整備事務所の中でも、有数の事業規模で、植栽面積順で第3位になります。なお、第1位は島根県松江水源林整備事務所、第2位は北海道水源林整備事務所となります。(令和4年3月時点)

現在、職員は10名で、この内7名が赴任勤務をしており、北は宮城県、西は広島県と全国各地の出身者がいます。



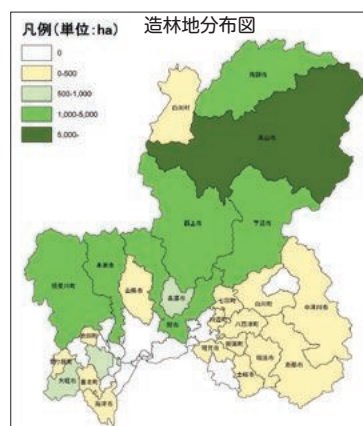
ぎふ森林文化センター

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター
岐阜水源林整備事務所

岐阜県内の取り組み状況は

岐阜県では昭和36年に水源林造成事業を開始して以来、県内25市町村で面積2万5千602haの水源林を造成しています。(令和6年3月時点)

これは岐阜県内の民有保安林全体の面積25万2千549ha(出典:令和4年度岐阜県林業統計要覧)のうちの約1割に相当します。右図は当事務所が管轄する水源林造成地の分布図です。



余談ですが執筆しました私は

中途採用7年目のセンター職員です。これまでに神奈川県→北海道→島根県→岐阜県と転勤してきました。岐阜は豊かな自然にあふれ住みやすく、とても魅力的な場所だと感じています。

エレキギターを弾くことが趣味です。いつか森林整備センターの造林地で育った木で作られたギターを弾けたらいいなと夢を抱いています。好きな曲は「ソラニン」です。



YAMA NO SAIJIKI
238
山の歳時記
トガリアミガサタケ
文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事
川尻 秀樹

「アミガサタケはどこにありますか」、狩猟免許を持つ岐阜県立森林文化アカデミーの卒業生から連絡があり、後日一緒に現場に向かいました。

アミガサタケの仲間は5月～6月、庭や草地、森林などに発生するチャワンタケ目アミガサタケ属のキノコで、アミガサタケ (*Morchella esculenta*) やトガリアミガサタケ (*M. conica*)、チャアミガサタケ (*M. var. umbrina*) を総称してアミガサタケとも呼びます。

アミガサタケという名の由来は、キノコの頭部が卵形や卵状円錐形で、頭部表面が蜂の巣状にくぼんだ形状をしており、これを「編み笠」に見立てたことに由来します。

ちなみに卒業生が見に来たのはトガリアミガサタケで、アミガサタケと比較すると頭部の下端にある網目がアミガサタケは下辺が閉じておらず、トガリアミガサタケは完全に閉じている違いがあります。

またアミガサタケよりも頭部の色が濃いくぼみが多く、形状も先端部が細く尖(とが)った形状になることが多いため「尖網笠茸」と名づけられたのです。

アミガサタケ類の柄(茎のようなどころ)は中空の円筒形で表面に凸凹があり、古くなると内部の空洞部に昆虫類が入っていることがあります。またチャワンタケ目のキノコであるため、頭部の網笠状のくぼみ一つ一つが、通常のチャワンタケ類のキノコ(子実体)に相当

し、このくぼみの内側に子実層が発達します。

ふだん私たちがキノコと呼んでいる多くは担子菌門に属し、酸性化した土壌を好みます。これに対してアミガサタケは子のう菌門に属し、アルカリ性土壌を好みます。

またアミガサタケの仲間は地中にある生物の遺体などを栄養源とする腐生性菌という特徴があります。この子のう菌門には西洋料理に使われる白トリュフや黒トリュフ、薬膳料理に使われる冬虫夏草も含まれます。

アミガサタケ類はフランスではモリユ (*morille*)、イタリアではスプニエーラ (*spugnola*)、アメリカではモレル (*morel*) と呼ばれ、生だけでなく乾燥品や缶詰も流通しています。

アミガサタケ類には水溶性の毒があるため生食は厳禁で、ゆでて毒成分を抜くのが鉄則で、加熱することで弾力がありシコシコした歯触りとコクのある旨味を楽しめます。

ます。

特に乾燥品は水で戻すと更に、弾力や芳醇な香り、旨味が増すため、ジビエ料理に重宝されるのです。

電話をしてきた卒業生は、自分で捕獲したシカ肉の調理で、ジビエ特有の臭いをアミガサタケの芳醇な香りでカモフラージュしたかったのです。



頭部の色が濃く、少し大型のトガリアミガサタケ



森林と人を 生かす知恵 149

製材から丸太を知る：曲がり材と大径材を探る

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授(再任用)・前教授 ● 吉野 安里

森林文化アカデミーには、演習林と製材機、すぐ隣の森林研究所には、蒸気式の木材人工乾燥機があります。これだけそろっている学校はめずらしい。

林業を学ぶ学生のために製材機を使った授業があります。生産する丸太(商品)について知るのが授業の目的です。今回は、曲がり材と大径材についてです。

【製材工場での視線】

製材の現場では、丸太の曲がりや欠



写真 材の外観

丸太径の考察

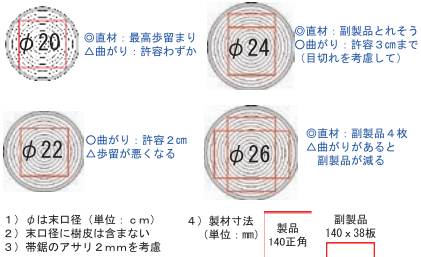


図-1 丸太径の考察

長伐期・大径材の想定

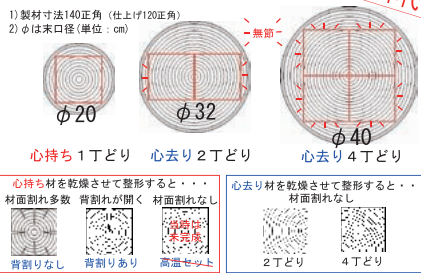


図-2 長伐期・大径材の想定

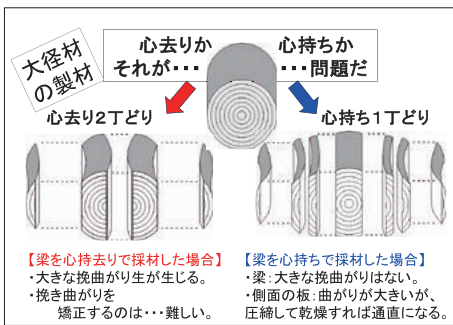


図-3 大径材の製材

点が明瞭です。歩留まりに直結するので、林業現場や土場以上に、厳しい評価に感じるかもしれません。(写真)

【曲がり材は「くやしい」?】

一二〇角材を例にとります(図-1)。小曲がり、乾燥収縮、カンナ仕上げを考慮して1辺140mmの正角材に製材します。すると対角線は約200mm、すなわち末口径(以下、径)20cmが歩留まりの点でベストです。それゆえに、大きめの曲がりがあると寸法不足になってしまいます。部材には決まっ

た寸法があるので、「寸法不足だから1ランク小さくても、まあいいか」ということは、通常あり得ません。径22cmならばどうか?曲がりを許容する余地が増えますが、ムダが増えてきます。径24cmではどうか?副製品として汎用的な38mm厚(最終仕上げ30mm)の板が1枚とれます。径26cmでは4枚です。しかし、曲がりがあると2枚かもしれないし、2方向の曲がりならば、最悪ゼロかもしれない。授業では、副製品を「オマケ」と表現しています。「オマケ」は、あるとうれしい、なけ

ればくやしい。製材から感情が生まれます。「曲がり材」がいかに「嫌われている」かを、感情から体験化できます。選木や造材の学びは、製材工場がふさわしい。

【大径材の挽き曲がり】

40年くらい前に、長伐期・大径材林業を目指した時代がありました。目的は、柱の4丁採り(図-2)と大断面材の生産です。十分に育った大径材を髓(樹心)で挽いてみると、根本に近いほど、大きく挽き曲がる傾向があります。立木には、樹幹の外周部には、樹体と地面を引っ張るような応力が生じています。地際ほど強い。製材によって、応力は一気に開放され、長さ方向に反り曲がります。まっすぐに挽きようがありません。梁では、心去りよりも心持ちの方が有利です。心(髓)の左右のバランスをとれるからです(図-3)。側面はかなり曲がりますが、無節の板が採れます。十分な重石をのせて、90度5日くらいで人工乾燥にかければ、まっすぐになります。壁板や集成材のラミナとして使えます。木材利用分野の知恵や工夫も紹介します。

【木材利用技術との連携】

曲がり材や大径材の利用は容易ではありません。製材工場の自動化も大径材に十分に適応できていません。乾燥技術、加工技術からの解決が必要です。先人たちが育てた材を、我々がどう受け止め、次世代に引き継ぐかが大切です。

ぎふ木遊館通信

郡上市展がぎふ木遊館にやってきました！

ぎふ木遊館のギャラリーでは、県内各地の「ぎふ木育」の取組や、その背景となる自然を紹介するギャラリー企画展を毎年開催しています。

今年度は4月10日から5月13日まで「郡上市展」を開催しました。

市の重要無形文化財に指定されている「郡上本染」の展示（協力：郡上本染渡辺染物店）により「ジャパンプルー」と評される藍色が館内を彩りました。

郡上の冬の風物詩、清流吉田川での寒ざらして色鮮やかに仕立てられた郡上本染の鯉のぼりが木育ひろばの天井に設置され、まるで空を飛んでいるような景色でした。現代ではなかなか見ることのできない大きな鯉のぼりに驚かされている利用者の方もいました。



木育ひろばで鯉のぼり



郡上本染のギャラリー展示

郡上市では、新生児に国産材の木のおもちゃのカタログギフトをプレゼントする事業を実施しており、その対象のおもちゃを展示して来館者に触れてもらいました。

カタログには、郡上市内のおもちゃ製造事業者の写真や想い、実際に使用したお母さんのレビューなどが掲載されており、木の温かみとともに、人の温かみも感じられる取組です。

ギャラリーでは、木のおもちゃの他にも郡上市で作られた食品サンプルも展示されました。郡上市では実際に食品サンプルの制作体験ができる工房もあるので、実際に郡上市へ足を運ばれてはいかがでしょうか？

令和7年度ぎふ木育実践基礎研修が始まりました！

4月19日に開催した第1回の研修では講師の浅野美香子氏の「ぎふ木育概論」の講義からはじまり、館内のヒヤリハットやワクワクする場所の洗い出しやチームで木のおもちゃを使って積んだ高さを競うなどコミュニケーションワークを行いました。

参加者の方からは「とてもわかりやすい講義でした。大人でもこんなに楽しく遊べて、今後も木のおもちゃを岐阜県民としても伝えていきたいと思います。」という声もいただきました。

今後もぎふ木育実践基礎研修はぎふ木遊館だけではなく、岐阜県内各地で開催予定です。ぜひあなたの特技や経験を「ぎふ木育」に活かしてみませんか？



木育ひろばでヒヤリハット＆ワクワク探し



チームでドミノ倒し



木のおもちゃでコミュニケーション



<今後の研修スケジュール>

6月 7日(土) 開催地：ぎふ木遊館
6月17日(火) 開催地：ひだ木遊館 木っずテラス(高山市)
7月26日(土) 開催地：ぎふ木遊館
9月21日(日) 開催地：ぎふ木遊館
※このほかに、今後郡上市・揖斐川町でも開催予定です。
※6/7、7/26、9/21の講師は飛騨五木(株)です。

詳しくは、ぎふ木遊館HP
「おしらせ」をご覧ください





やがてみんなの森になる

morinos

春のメンテナンス紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）の春のメンテナンス作業についてご紹介します！

<あんなことやこんなことまで!?休館日ならではの特別なメンテナンス作業>

開所5年目のmorinos。ひろばで遊んだり、たき火で温まったり、自由な工作を楽しんだり…毎日色んな人が遊びに来ます。そんなmorinosですが、どうしても長い間使っていると脆くなったり壊れたりする部分が出てきます。遊びに来てくれた人に安全に気持ちよく使ってほしい…そのため、定休の火・水曜日や長期の休館日にはmorinosのメンテナンス作業を行っています。今回は春のメンテナンスの一部をご紹介します。



第1駐車場からmorinosに向かう途中にあるウッドデッキ。雨などにより木が腐食してきたら、ビスを外して木材を張り替えられないといけません。一箇所ずつ切って材をはめ直し、ペンキを塗って…を繰り返して、はだしで走り回っても大丈夫なデッキに生まれ変わりました！



morinosの土山にショベルカーが登場！固くなった土山をほぐしたり穴を掘ったり…重機の力を使えばラクラクです！ですがこの場所はこの後何になるのでしょうか…？実はまだまだ作成途中。5周年を記念して何かをリニューアルします。完成までお楽しみに！



morinosひろばの芝生ではみんなで穴をあけてメンテナンスしました。穴をあけたら芝生がかわいそう…と思うかもしれませんが、実は芝生の成長のために必要な作業。穴をあけることで踏み固められた土の中にも空気が入って根が広がり、芝生の成長が促進されます！夏には青々とした芝生になるよう、準備をしています。

morinos HPでは、こうした日常風景からプログラムまで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。



morinosの建物の中には薪ストーブがあります。冬に遊びに来て、お世話になった方も多いのではないのでしょうか。そんな薪ストーブのシーズンも終わったので年に1回の掃除をしました。薪ストーブ内だけでなく、morinosの屋根に上って専用のブラシで煙突の中の汚れを落とし、来冬も安全に使えるようにきれいにしました。

ホームページ <https://morinos.net>

YouTube 検索「morinosチャンネル」

開館時間 10:00～16:00

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」



“ぎふの木”使います!

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結者のご紹介 —



岐阜県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、事業者が県と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

令和6年2月28日に第2回目となる協定締結式を執り行い、11事業者（10協定）と協定を締結しました。その各協定締結者を順次ご紹介します。

株式会社 YUKAIGO

<今までの取組み内容>

サステナブルな社会と地域創生の実現を目標として、岐阜県産材を積極的に使用した高齢者施設の建設など、カーボンニュートラル・脱炭素を意識した高齢者施設を運営しています。

令和2年度にはデイサービス、令和6年度には住宅型有料老人ホームを岐阜県産材を利用して建設しています。

家具においても岐阜県産材を使用した製品を積極的に導入しています。



<今後の取組み内容>

今後も地域創生を意識し、岐阜県産材を使用した建物の建設や家具の導入に取り組み、多くの利用者が木のぬくもりを感じながら過ごすことのできる空間を提供していきたいと考えています。

来年度には新しく有料老人ホームの建設を計画するとともに、既存建物については県産材の家具を新たに備品として追加することを予定しています。

木造建築ならではの暖かい雰囲気をSNSなどで積極的に情報発信していきます。



<事業者概要>

○本社所在地：

多治見市笠原町2455-41

○業務内容：高齢者介護事業

HP：<https://www.smile-tajimi.com/>



各協定締結者には、県産材の活用について積極的な普及啓発に努めていただきます。



木の香る
ぎふの施設

146

美濃保育園 図書館棟

木造化

住所 美濃市吉川町1765-4



施設の経緯

美濃保育園は令和6年に創立80周年を迎えました。その記念事業として、園庭に図書館棟を建て、遊びと学びが交差する遊び基地を作りました。地下1階部分はピロティになっており、遊び道具を子ども達が出しやすいよう工夫しています。また、館内の床はスギ材を使い、木の温かみが感じられる施設です。



施設の概要

事業年度	令和6年度
事業主体	社会福祉法人 愛育会
構造 延床面積	木造 1階建・地下1階 166㎡
施設用途	美濃保育園 図書館棟
県産材使用量 使用樹種	48.61㎡ スギ、ヒノキ
全体事業費	136,620千円
助成額	3,000千円(ぎふ県産材利用促進施設等整備事業)
設計者	株式会社HOU
施工業者	澤崎建設株式会社
工期	令和6年4月22日～令和7年1月31日



図書館棟全景



テラス

ここに注目!!

図書館の1階東の縁側は柱もなく広々としています。また建物を一周するテラスは気持ちの良い空間となっています。さらにそこから広がる園庭には起伏を作り、多種類の樹木を植えて自然に近い環境にし、小鳥や昆虫たちがやってくるよう工夫しています。

利用者の様子

館内は太陽の光や風が心地よく入ってきてとても居心地の良い空間です。やっぱり木造は良いですね。子ども達も落ち着いて本を読んでいます。

問い合わせ先

社会福祉法人 愛育会

美濃保育園(美濃市吉川町)

TEL 0575-33-0239

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

2

脱炭素社会に貢献する森林づくり事業(②森林吸収源対策)

事業目的

- 森林由来のカーボン・クレジット制度や森林信託の仕組み等を活用した、新たな森林経営の方法を検討します。

事業概要

- 県林政部に設置した「森林吸収源対策岐阜県モデル検討会」内に、2つの研究会(「オフセットクレジット評価検証プロジェクト研究会」、「森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会」)を設け、森林による二酸化炭素吸収量を評価(クレジット化)する仕組みや、森林信託の考えを取り入れた森林所有者に利益を還元する仕組みの検討を行います。
- 森林所有者、林業事業体等に対し、森林吸収源対策の普及啓発を行います。

報告・調査

森林吸収源対策岐阜県モデル検討会

報告・調査

オフセットクレジット評価検証プロジェクト研究会

目的

森林のCO₂吸収や固定化の研究と評価手法

検討内容

- ・ J-クレジット制度の評価・検証
- ・ G-クレジット制度の新しい方法論の検討
- ・ 民間ボランタリークレジットの調査・研究
- ・ オフセットクレジットの方向性 など

森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会

目的

森林信託業務の検討

検討内容

- ・ 森林信託の仕組み
- ・ 事業規模
- ・ 適正な利益の配分 など



取組状況 令和4年度から令和6年度末時点

- 検討会及び研究会を21回開催しました。
- 森林由来のカーボン・クレジット制度活用セミナーを5回開催しました。
- 研究会で素案をまとめた、岐阜県独自のカーボン・クレジット制度である「G-クレジット制度」については、令和5年11月から運用を開始することができました。
なお、G-クレジット制度では22件(19者)のプロジェクトを登録し、うち6件(6者)のプロジェクトにおいて1,752t-CO₂のクレジットを認証し、完売しました。
- 今後は、クレジットの活用方法の拡充等による魅力向上・購入拡大や森林信託について議論を重ね、森林の様々な機能の経済的価値化に関する検討を進めていきます。



森林由来のカーボン・クレジット制度活用セミナー(R6.10.23開催)



G-クレジット制度プロジェクト登録証交付式(R7.3.25開催)

コンテナ苗は低コスト？(Ⅴ) ―ヤシ殻に替わる培地基材の開発―

森林研究所 茂木 靖和

現在、岐阜県内で生産されるヒノキコンテナ苗の多くは、培地（培養土）の基材にヤシ殻を使用しています。しかし、ヤシ殻は海外産のため、海外情勢によって調達に滞る可能性があります。実際令和4年には、海運業界の混乱からヤシ殻の調達予約ができない時期がありました。幸い、苗生産開始時にはヤシ殻が入荷され、通常どおり苗生産できましたが、今後の不安が解消されたわけではありません。そこで、ヤシ殻に替わる培地基材を、岐阜県内で入手しやすい資材から作り出せないか検討を開始しました。

1. 試験方法

コンテナ苗の培地基材をバーク堆肥（岐阜県内工場で加工された樹種未特定で、ホームセンターの販売品、図1(a)）、またはキノコ廃菌床（岐阜県内のブナシメジ生産施設で発生したもの、図1(b)）に変えてヒノキコンテナ苗を育成し、ヤシ殻（図1(c)）で育成したものと比較しました。また、その際に植栽後の成長促進に効果のあった溶出日数700日の緩効性肥料の添加割合を10、20、40g/Lに変えた試験区を

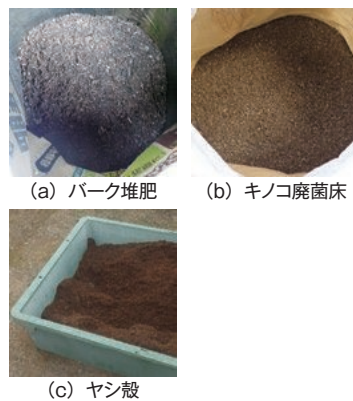


図1 試験に用いた培地基材

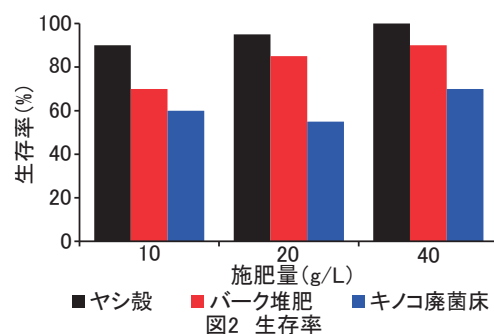
2. 試験結果

設定し、苗の成長が培地基材だけでなく施肥（元肥）量によって、変わるのかについても検討しました。

種をまいてから一か月程度経過した5月に、樹高2cm前後になったヒノキ実生を、培地を詰めたコンテナへ移植して、その後約13ヶ月間、ミスト室で育成した時の苗生存率を図2に、苗サイズ（樹高、根元直径）を図3に示しました。

生存率は、すべての施肥量で、ヤシ殻よりバーク堆肥、キノコ廃菌床が低く（図2）、ヤシ殻が優れていました。樹高は、すべての施肥量で、キノコ廃菌床ではヤシ殻より小さく、バーク堆肥ではヤシ殻と大差ありませんでした（図3(a)）。根元直径は、キノコ廃菌床ではすべての施肥量で、バーク堆肥では施肥量10g/Lでヤシ殻より小さく、40g/Lでヤシ殻と同等以上でした（図3(b)）。また、すべての培地基材で、施肥量が増えると樹高および根元直径が大きいく傾向がみられました。特にバーク堆肥の根元直径でその傾向が顕著でした（図3(b)）。

今回の試験で施肥量40g/Lのバーク堆肥では、苗サイズがヤシ殻に劣りませんでした。また、生存率は90%で、同一施肥量のヤシ殻には劣りましたが、施肥量10g/Lのヤシ殻とは同等でした。このことから、バーク堆肥は施肥量によつてはヤシ殻の代替資材として有望と考えられます。



今回は、培地の基材を一種類に限定した検討でした。今後は複数の基材を組み合わせた検討を行っていく予定です。その中にはヤシ殻を超える培地基材条件が存在するはずです。それが実在すればその時の資材は、運搬コストが安い県内産のため、コスト削減も期待できます。最近、コンテナ苗と裸苗の初期成長が変わらないことが報告されるなど、コンテナ苗を用いた再造林技術が低コストにならない事例が蓄積されつつあります。それらを払拭するためにも、この技術開発を早期に実現させたいと思います。

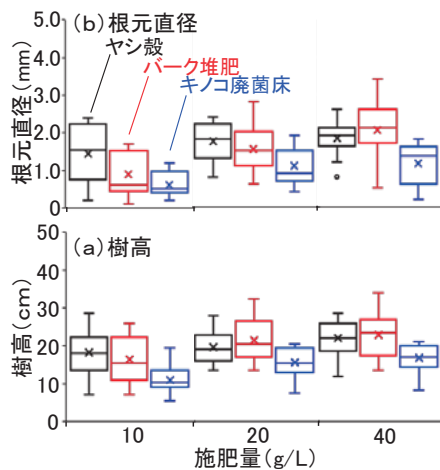


図3 苗サイズ
箱は四分位範囲、箱中の横線は中央値、×は平均値、上のバーは最大値、下のバーは最小値を示す。

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで

施業プランナー 実践力向上研修について

森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター 普及企画係



はじめに

岐阜県では、「森林所有者に対し、間伐や路網整備等の収支を含めた施業提案を行い、森林経営計画を作成・実行監理ができる中核的な人材」を施業プランナー（以下プランナー）と位置付け、育成等のための研修を企画・運営しています。研修はこれからプランナーとして活躍してもらう人に、業務を行う上で必要な基礎的事項を学んでもらう「育成研修」と、すでにプランナー業務の現場で活躍している人に、実務で直面する課題について考え、課題を解決するための技術力を身に付けてもらう「実践力向上研修」があります。本稿では、令和6年度に実施した「実践力向上研修」について紹介します。

研修日程及び受講者数

日程 令和6年7月29日～10月23日（全7回）
受講者数 2名

研修内容

今回、テーマを定めず課題を募集したところ、次の3つの課題の応募がありました。

①単木保護資材施工地における獣害の発生

【課題の概要】

高山市のスギの植栽地に、獣害防止のため生分解性の単木保護資材（シュルター）を施工し、後日現地を確認したところ、シュルターが何らかの原因で上にずれており苗木が被害を受けていました。

【検討テーマ】

この原因を究明し、再発防止のための手法を検討しました。

【検討内容】

森林研究所の研究員らと現地状況を確認したところ、支柱として使用した竹にシュルターを固定している留め具が、竹の節の間を動いてしまっていることが分かりました。対策として、支柱に固定する留め具を改良すればシュルターが動くことはなくな

るのではないかと考えられました。

【改善に向けた取り組み】

原因と対策がある程度推定できたため、再発防止に向けてプランナーへ正しい知識の普及が必要と考え、同僚のプランナーのほか、周辺の他組織のプランナーにも声をかけ、勉強会を実施しました。

勉強会では研修生から今回の事案を説明し、森林研究所の講師から獣害対策方法選択の考え方の説明、および質疑応答と意見交換を行いました。



単木保護資材の設置状況の調査

②秋植えしたヒノキコンテナ苗の枯死

【課題の概要】

高山市の標高9000～10000mの皆伐跡地に、ヒノキのコンテナ苗を秋植えしたところ、翌春に約4割の苗木が枯死していました。

【検討テーマ】

この原因については、苗木の生産地と植栽地の気温差、苗の入荷から植栽までの管理方法、植栽の方法など、様々なことが考えられ、原因の究明と再発防止のための手法の検討を行いました。

【検討内容】

森林研究所の研究員らと現地状況を確認したところ、枯死した苗木は上に引つ張ると根鉢が植栽時のままの状態では抜けるものがあり、植栽後に根が成長していないものが見られました。また、苗を植える際に腐植層を十分に取除いて植え付けていないものが散見されました。さらに、冬場現地は風が山麓から山頂へ吹き上がりやすい地形となっており、根が成長していない段階で風による乾燥が進んだのではないかと推測されました。

【改善に向けた取り組み】

現地調査の結果、再発防止には植栽の時期や植栽方法について、プランナーに正しい知識を普及することが必要と考え、周辺のプランナーも

含めた勉強会を①と併せて開催しました。

勉強会では研修生から今回の事案の紹介と、森林研究所の講師からコンテナ苗の植栽方法、とりわけ適切な植栽時期の選定についての説明、及び質疑応答と意見交換を行いました。



勉強会の実施状況

③ 施業提案の効率化の検討

【課題の概要と検討テーマ】
森林所有者へ集約化施業の説明をして同意を取得する際の効率化を図るため、同意取得の手順を定めたマニュアルを作成し、手戻りなどを減らすこととしました。

【検討内容と改善に向けた取組み】

同意取得の際、具体的にどういう点で手戻りなどが発生しているかについて情報を収集・分析すると、森林所有者の意向を把握するタイミングが遅く手戻りが発生する場合と、森林所有者からの質問への回答に時

間を要する場合の2パターンが多いことが分かりました。

そのため改善策として、森林所有者へのアンケートを見直し、意向を事前にできるだけ正確に把握することと、所有者からの質問についてプランナー間で情報共有をし、Q & Aにまとめることで迅速に回答できるようにすることとしました。

そして、研修生が作成した改善案をもとに、プランナー間で検討を進めて業務の効率化に繋げる取組みを進めました。

今後の取組み

令和7年度も引き続き施業プランナー実践力向上研修を実施して、プランナーのスキルアップを進めます。



同意取得の改善に向けた検討

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-351-2200
森林文化アカデミー 森林技術開発支援センター
普及企画係まで

スマート林業通信 ④7

携帯圏外通信の実証試験について

近年、森林における電波不感地帯の解消に向けて様々な取組みがされています。

今回は、2月21日に森林文化アカデミーで発表会が開催された取組みを紹介いたします。

● Wi-Fi Halow

従来の Wi-Fi と比べ長距離、低消費電力での通信が可能。今回は、スターリンクのアンテナから離れた現場までの中継を担っています。

● トランシーバアプリ BONX

スマートフォンを利用するトランシーバアプリで、グループ通話や双方向通話の他、音声メッセージ、チャット、画像の共有が可能。また、音声テキストに変換ができ、作業報告等への活用が可能。

● Cradio

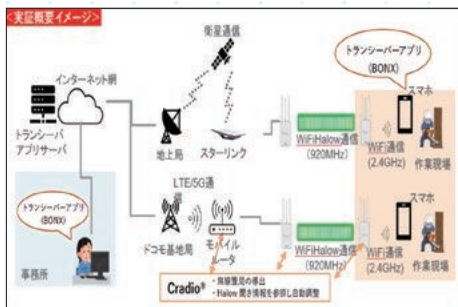
地形や周辺樹木の影響を考慮したシミュレーションにより Wi-Fi Halow 基地局の最適配置を求めるのに使用。

【実証試験結果】

昨年11月から12月にかけて揖斐郡森林組合の事業地で行った実証試験では、重機トラブルが発生した際の連絡時間が、従来30分程度要していたものが40秒となる等、大幅な短縮が図られました。また、写真等の共有により、事務所からメーカーへの調整が速やかに完了しました。

作業報告もアプリの自動文字起こし機能により、わずかな時間で作成できるなど業務の効率化が図られました。

今後は、現場での実装により実用に向けてブラッシュアップをしていくとのこと。



株式会社大垣共立銀行コンソーシアムメンバー
大垣共立銀行、NTTコミュニケーションズ、GOCCO、岐阜大学、よだか総合研究所、揖斐郡森林組合、揖斐川町、森林文化アカデミー

この取組みは、大垣共立銀行を中心に構成されたコンソーシアムが、総務省の「令和6年度地域デジタル基盤活用推進事業」を活用して、林業の就業環境の改善を目的とする新たな通信技術やコミュニケーションアプリなどを活用した仕組みの実用化に向け、実証試験を行ったものです。

【機器の構成】

● スターリンク

スターリンク衛星とアンテナを使って、通信環境が整備されていない場所でも高速・低遅延のインターネット接続が可能。

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-351-2535
森林文化アカデミースマート林業推進係まで

開催日	行事名等	内 容 等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所 申込(問合せ)先/TEL
6月11日(水)~ 6月13日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間 11日 学科 8:50~17:10 12日 学・実 8:50~12:30 13日 実技 8:30~17:10 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 24,200円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	11日(学科) 12日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 13日(実技) 榎木の国 土場(山県市椎倉203-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月17日(火)~ 6月18日(水)	走行集材機械の運転業務 特別教育	●講習時間 17日 学科 9:00~16:00 18日 実技 9:00~16:00 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 46,200円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。) (学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は 10名単位の開催となりますので実技受講者が 10名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。)	17日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 18日(実技) 関市地内山林(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月1日(火)~ 7月4日(金)	フォークリフト 運転技能講習 受講資格 自動車普通運転免許所持者	●講習時間 1日目: 学科 8:45~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目: 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員: 20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門850-67) (実技) ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

金華山は標高329m、天然林が9割以上を占める自然豊かな山で、全10ルートに登山道が整備されています。どのコースも1時間ほどで山頂に到達できるため、ルート毎の差はあるものの、比較的登りやすい山とされています。山頂まではロープウェーも通っており、気軽に訪れることができるのも魅力の一つです。

山頂には、岐阜城やリス村といった観光施設があり、登山だけでなく、観光目的としても楽しめる山です。また、山のふもとには岐阜公園が広がっており、2025年4月には、その一角に新たな観光商業施設「岐阜城楽市」がオープン。連日多くの人でにぎわいを見せています。

「体力づくりに、一度金華山を登ってみよう!」と友人と話してから、早数年……。なかなか踏ん切りがつかないままでしたが、岐阜城楽市のオープンを機に、登山の後のご飯を楽しみに、再び金華山へ挑む気力が湧いてきました。体力に自信のない私ですが、今度こそは有言実行できるといいな……と思っています。

「森林のたより」編集委員 岐阜文芸社 小川 友梨

7月号予定

イベント情報

7月1日
発行

連載

●山の歳時記(239)

清流と森と親しむ

●森林と人を活かす知恵(150)

木と親しむ

●岐阜県の公共木造建築(147)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

●研究・普及コーナー

市況情報

その他

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配
第1884回 岐阜共販所 5月13日	すぎ	3 m	16～18cm	14,600	—	→
		4 m	16～18cm	14,000	—	→
			20～22cm	14,500	—	→
			24～28cm	14,400	—	→
			30cm以上	13,000	17,500	→
	ひのき	6 m	16～22cm	17,200	—	→
		3 m	16～18cm	21,100	—	→
			20cm以上	18,900	41,800	→
		4 m	16～22cm	20,700	—	→
			24～28cm	19,000	—	→
			30cm以上	18,700	113,000	→
		6 m	16～18cm	—	—	→
第1479回 飛騨共販所 5月14日	すぎ	3 m	16～22cm	14,500	—	→
		4 m	24～28cm	14,600	—	→
			30cm以上	14,000	—	→
	ひのき	3 m	16～18cm	21,000	—	→
		4 m	20～22cm	20,500	—	→
			24～28cm	19,500	—	→
			30cm以上	—	76,000	→
		6 m	16～20cm	—	—	→
	ひめこ	4 m	24～30cm	12,000	—	↘
			30cm以上	12,000	—	↘
		5 m	40cm以上	—	—	↘
	くり	4 m	24cm以上	14,000	—	→
第1813回 東濃共販所 5月8日	すぎ	3 m	16～22cm	14,700	—	→
		4 m	24～28cm	14,400	16,000	→
			30cm以上元	15,000	43,000	↗
	ひのき	3 m	16～22cm	21,300	29,000	→
			24～28cm	20,000	29,000	→
			30cm以上元	28,000	—	→
		4 m	13cm以下	12,000	—	↗
			16～22cm	21,300	—	→
			24～28cm	19,800	28,000	→
			30cm以上元	29,000	200,000	→
		6 m	18～22cm	29,500	—	→
	まつ	4 m	30cm以上元	—	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

【商況】

スギ4m元木、尺上良材は入札多数で活気あり、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は強含みで引き合いは強い。ヒノキ3m・4m構造材の価格は強含みで推移。合板向けは価格は強含みで納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

水の上がる時期や虫害など条件が悪くなってきたこともあり全体的に弱含みで推移。(特にマツ、ヒメコは弱い)広葉樹はハウ、オニグルミは以前より元気がないがサクラは旺盛で推移。針葉樹同様に広葉樹も曲がり避けて造材をお願いします。高値はヒノキ4m×46cm@76,000円、オニグルミ2m×36cm@38,000円、クリ3m×46cm@65,000円、ナラ4.4m×54cm@50,000円、サクラ4m×38cm@35,000円、ナシ2.6m×48cm@47,400円。(飛騨)

出材量は、スギ、ヒノキともに横ばい。ヒノキは全般に上げ相場。役物良材は応札多数で活気。3m・4m材は全般に強保合、尺上材は引き合いは強い。中目良材も地元工務店を中心に強気は継続。2m(20cm以下)は弱保合。スギは、中目尺上元木良材が底堅く価格保合で推移。目荒等並材は価格も伸び悩み売りづらは継続。4m(24cm以上)構造材は保合、同3mも保合推移。6m長柱向け(18cm～22cm)は引き続き好調を維持。合板向けについては、価格保合ながらも納材は順調。ラミナ向けはスギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格(4月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m³当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	80,000	(3,528)	→
	柱	3000	120	120	特等	75,000	(3,240)	→
		6000	120	120	特等	155,000	(13,392)	→
W 集 成 材	柱	3000	105	105	国産5層	85,000	(2,800)	→
		3000	120	120	国産5層	88,000	(3,800)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況(4月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	432	↑
米栂	へム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ～木材用語～

がいこうざい
外構材

住宅の外に使われる建材。テラスやバルコニーほか、庭用の資材も含まれる。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典

末梢

素朴な疑問を調べてみました

県の木は、なぜ「イチイ」なのか？

4

シリーズでその魅力を発信いた

だいている「ぎふ木遊館」。ここには県下各地から集められた巨木がそびえ、遊びの中心「木育ひろば」には樹齢400年、直径約1.5mのスギを削り貫いた「丸太トンネル」が横たわる。そんな中、玄関土間からフロアーに上がる正面の壁に県の木「イチイ」が3本立っている。直径は15cmにも満たないのであまり目立たないが、それでも樹齢50年は経っている。県森林研究所の周囲に生えていた。

以前、高山市荘川町で日本一大きいとされる国指定天然記念物「治郎兵衛のイチイ」を見たことがある。推定樹齢2千年でも樹高は15m程度。イチイの成長は本当に遅い。この遅さが生み出す木肌や木目は、「一位一刀彫」の匠の技によってその魅力が格段に高まる。茶道具、置物、面など、加工される工芸品は本県を代表するもの。かつて退職者への記念品によ

く使われたことを思い出す。

ところで岐阜県といえばヒノキ。資源量は人工林の約6割を占め、面積は全国第2位。ブランド材「東濃桧」は昭和30年代後半から建築用材として銘柄化された。ピンクの木肌、香り、艶などの特性は評価が高い。今なお屈指のブランド材だ。

この両者の魅力、単純に比べるものではない。だが資源量だけ見ると歴然の差。もう一つ「長良杉」も資源量は結構ある。その一方で県民の歌ではなぜか「もみじ」が入っている。どうして県の木がイチイとなったのか、前職時代から聞くに聞けない疑問であった。

そこでまず、例の如くネットで調べたが、説明するサイトが見つからない。次の策として「岐阜県林業（当誌の前身）」の制定当時の記事を遡ることとした。書棚の奥にある古い冊子をめくっていくと直ぐに

答えが、昭和41年11月号である。記事では「毎日新聞社が主催した『緑のニッポン全国運動』の一環で県の木選定が行われた。県の募集に対し4千を超える応募があり、この内イチイが約7割を占める。これを踏まえ審査委員会で満場一致で選定された。」とされる。ただ、イチイに応募が集まった理由は記載がなかった。



(昭和41年11月号)

少し後も見ていくと昭和45年6月号の記事で林業センター（現森林研究所）の建設状況を紹介。繋がる。冒頭紹介したぎふ木遊館のイチイはこの開館頃に植えられたのだらう。

さらに、シリーズ「山の歳時記（川尻秀樹氏著）」にはイチイの紹介は当然あると思い見ると、平成21年11月号から2回にわたって寄稿していた。これによれば「伝説で



(昭和45年6月号)

は位山Ⅱ現高山市一之宮町のイチイで笏（しゃく）をつくり、仁徳天皇に献上した。この際、笏をつくる高貴な木として『正一位』を授けられたと言ひ伝えられ、これが木の名の由来とされる。」と紹介されていた。

因みに全国の制定木を調べるとマツやスギが多い。この中、一位の称号をいただいたイチイこそ他を寄せ付けない際立った存在であると勝手に思え、少し誇らしくなってきた。これらの制定木は皇居と国会議事堂に全て植えられているそうです。

山林協会 高井